

令和 6 年 度
事業 報告 書

公益財団法人 山口県学校給食会

目 次

令 和 6 年 度 事 業 報 告 書

I 役員・評議員・職員等の数	2
II 学校給食会の事業	2
1 学校給食用物資の安定供給に関する事業	3
2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業	5
3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業	7
4 車両関係修理	1 0
5 修繕	1 0
6 設備投資	1 0
7 資産取得資金(冷凍冷蔵倉庫建替資金)の積立	1 1
8 令和6年度行事	1 2
附 属 明 細 書	1 3

令和6年度事業報告

《 事業概要 》

本会の目的である、「学校教育活動の一環として行われる学校給食の円滑な実施及びその充実発展並びに学校給食における食育の推進を積極的に支援し、もって広く児童生徒の心身の健全な発達に寄与すること」を実現するため、令和6年度においても、事業計画に沿って各種事業を実施した。

学校給食用物資の安定供給事業においては、基本物資、一般物資ともに、学校給食における地産地消に対応するため、地場産食材の開発を含めた販売の促進に積極的に取り組むとともに、アレルギー事故やノロウイルス等による食中毒、重大な異物混入の発生を防止するための安心・安全対策を実施した。

また、学校給食の充実発展及び食育推進事業においては、各種事業を計画どおり実施することができ、コロナ禍前の水準にまで回復した。

こうした中、基本物資である精米とパンについては、令和6年産米の価格高騰や長年給食パンの供給を支えてきた企業の倒産という不測の事態に見舞われたが、関係機関との協議・調整を重ねるなど、その影響の抑制に努めた結果、学校給食の継続実施に貢献することができた。

なお、本会の財務状況については、従前以上の営業活動や経費削減に努めた結果大幅に改善し、8年ぶりに黒字計上となった。

I 役員・評議員・職員等の数（令和7年3月31日現在）

理 事	7名（理事長1 常務理事1 理事5）
監 事	2名
評議員	9名
職 員	10名（男 8 女2） 再採用職員 2名（男2）
臨時職員	17名（男15 女2）
パート職員	2名

II 学校給食会の事業

- 学校給食用物資の安定供給に関する事業
- 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業
- 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業
- その他（災害救助の支援物資の供給）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

完全給食 種 別		令和 6 年度		令和 5 年度		増 減	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	公立	269	65,377	272	67,103	△3	△1,726
	国立	2	840	2	838	0	2
	計	271	66,217	274	67,941	△3	△1,724
中学校	公立	139	34,777	140	35,285	△1	△508
	国立	1	232	1	253	0	△21
	計	140	35,009	141	35,538	△1	△529
特別支援学校(国立含)		13	2,733	13	2,659	0	74
合 計		424	103,959	428	106,138	△4	△2,179

(1) 種類別学校数・対象者数(児童・生徒・教職員)

※ 参考資料：令和 5 年度、令和 6 年度「教育委員会・学校一覧」より算出。

- ①学校数は本校のみ ②人数は児童生徒数に教職員を含めた数である。
③高森みどり中、下関中等教育は公立中学校に含める。

(2) 共同調理場の状況

5 4 調理場(前年比△3)

(3) 物資取扱の実績(数量・金額)

① 実績(数量・金額)

(単位：千円)

品 名	令和 6 年度		令和 5 年度		増減
	取扱数量	売上高 (税抜)	取扱数量	売上高 (税抜)	売上高 (税抜)
パ ン	5,118,185 食	289,400	5,538,014 食	291,275	△1,875
委託炊飯(米飯)	4,225,099 食	268,968	4,915,454 食	283,526	△14,557
自校炊飯(精米・アルファ化米等)	650,603 kg	228,407	584,091 kg	172,792	55,614
小 計		786,776		747,593	39,181
一 般 食 品		350,678		353,192	△2,513
冷 凍 食 品		669,070		697,565	△28,494
非 食 品		3,206		3,773	△567
小 計		1,022,955		1,054,530	△31,574
合 計		1,809,731		1,802,124	7,606

※千円未満を切り捨てているため、合計の下一桁が「1」合わない場合があります。

② 概 況

今期は赤字体質から脱却し、健全経営を目指すことに重点を置き、児童数が 2.05%の減少となる中、売り上げは 0.42%の微増となった。

これを実現するために、粗利益率の向上を目指し、基本物資については主にパン加工賃上昇に付随したパン取扱い手数料の見直しを実施した。一般物資においては、通常価格商品の粗利益率は据え置きとしたが、入札物資については応札価格の綿密な見直しを実施した。その結果、粗利益率は平均で 2.04%の向上を果たすことができた。

(4) 良質で多種・多様な物資の調達

基本物資のパン用小麦粉、炊飯、精米のほか、一般物資として 1, 570 品目を取り扱い問題となっているアレルギー対応の食材についても学校からの要望に応じている。また、行政職員や栄養教諭等で構成する物資選定委員会において、6 年度は新たに本会が推薦できる優良な物資、主に使用頻度の高い魚介調理品をはじめ、できるだけ安価な商品と新しいデザート品等を選定し、利用を呼びかけた。

さらに、学校給食においても地産地消を推進するため、供給元と協議を重ね、山口県の地場産物を使用した新商品の開発に積極的に取り組み、「山口県産みかん」を使用した「山口県産みかんダイスゼリー」と「下松市産の柚子」を使用した「40g 山口県産柚子ゼリー（下松市産）」を開発した。

① 学校給食用物資選定委員会

第 1 回

開催日時 令和 6 年 8 月 6 日（火）

選定委員 県農林水産部、教育庁、小中学校栄養教諭（3 名）

公益財団法人山口県学校給食会 6 名

開催内容 優良な学校給食用物資の選定

応募企業 26 社（46 品目）

選定品目 14 品目（13 社）

第 2 回

令和 7 年 3 月に予定していた、次年度の学校給食用物資の価格を決めるために開催する第 2 回委員会は、委員の日程調整が難しく、会議形式での開催を中止とし、価格の決定については、各選定委員への書面決議とした。

(5) 安定価格の維持と安定的な供給

取扱物資の価格は、年度当初に公開し、年間を通じて公表価格以下に抑制し、給食内容の維持、保護者の負担軽減を図るとともに、公益財団法人としての役割を果たすため、製造メーカー等との交渉を通じ廉価で良質な物資の確保・供給に努めたが、2 学期以降、原材料の高騰やエネルギー価格の上昇に加え人件費の上昇によって取扱物資の値上り要請がある中、これを抑えるため、まとめ買いや次学期、次年度までの価格据え置き交渉、ロットの見直し

や安価な代替品への切り替えを行った。しかし、8業者52品目については値上げをせざるを得なかった。

また、たけのこの水煮、冷凍ほうれん草、冷凍みかん等、旬の季節食材約15品目については、収穫時に一括購入するなど、年間を通して安定した価格で供給できるよう努めた。

(6) 配送体制の確立

2トン積み冷凍冷蔵トラック10台、軽冷凍冷蔵トラック1台で県下全域に自前での配送体制を確立しており、年間を通じて円滑な配送を行った。古くなった車両1台を新車に更新した。

(7) 物資の保管

仕入れた給食物資は、本会が保有する常温倉庫（約846㎡）及び冷凍冷蔵倉庫（約752㎡）で保管している。ロット管理をシステム化することにより、賞味期限切れ物資の出庫防止に努めている。また、一括購入した冷凍野菜等については、民間倉庫に保管を委託した。

2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

(1) 主催・共催（県教育委員会及び関係諸団体）で、学校給食関係者や保護者・児童を対象に各種の講演会・研修会をととして食育推進のための支援事業を実施した。

① 山口県学校給食研究協議大会

学校給食の意義と役割に関する認識を深めるとともに食育の推進等の一層の充実・向上を図るため、衛生、食育に関する講演、栄養教諭・学校栄養職員等による事例研究発表等を行った。

開催日時 令和6年8月8日（木）

開催場所 山口県総合保健会館

主 催 山口県教育委員会 公益財団法人山口県学校給食会

参加者 学校栄養教諭、学校栄養士、調理員等

② 学校給食功労者の表彰

給食現場の士気向上を図るため、山口県学校給食研究協議大会において表彰式を実施し、学校給食功労者12名に表彰状と記念品を贈呈した。

③ 親子食育実践教室の開催

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、令和2年度から中止としていたが、令和6年度から再開した。パン給食が減少している中、学校給食に県産小麦、県産米粉を使用したコッペパンを提供していることから、学校給食への理解と地産地消・食に興味関心を持ってもらうため、山口県パン工業協同組合協力のもと、普段食べているコッペパンがどのように作られているのかを学ぶ「学校給食用コッペパン作り教室」を開催した。

開催日時	令和6年7月31日（水）
開催場所	公益財団法人山口県学校給食会
主 催	公益財団法人山口県学校給食会 山口県パン工業協同組合
後 援	山口県教育委員会 山口県学校栄養士会
参 加 者	山口県内在住の児童・保護者 18組 43名

④ 学校給食料理コンクールの開催

夏休み期間中に、山口県内の小中学校児童生徒の工夫に満ちた料理を募集し、コンクールを実施した。

募集期間	令和6年8月1日（木）～ 9月26日（木）
書類審査	書面開催
最終審査	令和6年12月13日（金）14時00分～
応募学校数	小学校 33校 中学校 22校
応募作品数	小学校 633作品 中学校 947作品
各 賞	小学校 最優秀賞 1作品 防府市立西浦小学校3年 北川 紬葵 「れんコンコンキーマカレー」 ほか 優秀賞 2作品 佳作 3作品

	中学校 最優秀賞 1作品 岩国市立岩国中学校1年 岩崎 杏莉 「カラフル野菜のミートローフ～山口の素材をとこ豚 ^{とん} つめて～」 ほか 優秀賞 3作品 佳作 5作品
--	--

主 催	公益財団法人山口県学校給食会
後 援	山口県教育委員会・山口県学校栄養士会

（2）助成事業の実施

学校給食に関わる団体の活発な事業展開と関係者の資質の向上に寄与することを目的に以下の事業を実施した。

① 特定団体への助成

山口県学校栄養士会	食育の推進及び指導に関する講習会8件とリーフレット作成1件
-----------	-------------------------------

山口県パン工業協同組合	学校給食用パン、米飯製造時における安心・安全の衛生意識向上のための衛生講習会 令和6年12月7日開催
-------------	--

② 公募型の助成

学校給食関係者が、県外で開催される学校給食に関わる講演会、研修会等に出席する場合の旅費の助成に6件、同じく学校給食関係者による児童生徒及び保護者を対象とした食育に関する講習会、料理教室等の開催など6件の合計12件に助成した。

③ 一般物資助成

学校給食に関わる者・団体等が児童生徒やその保護者を対象に学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、本会取扱い食材の無償提供を行う。(応募0)

(3) 施設の使用及び食育教材等の無償貸出事業

学校及び学校給食に関わる団体等に対し、当法人が保有する施設の使用及び食育教材等の無償貸出を実施している。

① 会議室貸出 13件

② 調理室貸出 2件

③ 年代別給食・郷土料理モデルレプリカ、ビデオ・DVD(教材用、衛生管理)、各種オードブル皿、紙芝居の貸出を実施した。オードブル皿については、コロナ禍前は80件程度貸し出していたが、コロナ禍以降バイキング給食が再開せず、昨年度(17件)より微減の13件と需要が少なかった。

28件

(4) 山口県産品を使用した新商品の開発・情報発信(物資選定委員会専門部会)

開催日時	令和6年11月6日(水)	9時30～16時
会場	公益財団法人山口県学校給食会	
委員	小中学校栄養教諭・公益財団法人山口県学校給食会	
協議内容	山口県産畜水産品加工工場視察・意見交換	
視察場所	有限会社鹿野ファーム 山口県漁連販売株式会社	

3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

学校給食用物資の安全性及び衛生管理を徹底し、児童生徒の健康保持、増進に寄与した。

(1) 物資の適正管理

① 学校給食用物資の安全性の確認(書面による確認)及び検査・検定の観点から業者に対し以下の学校給食用物資内容の提出を義務付けている。

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| ・栄養分析表 | ・細菌検査表 |
| ・原料配分表・原料の原産地・食品添加物 | ・包装資材の試験成績表 |
| ・遺伝子組換え食品等調査票 | ・製造工程表 |
| ・アレルギー物資を含む食品に関する調査票 | ・会社概要 |
| ・産地証明書(山口県産原料について) | |
| ・確認書(物資カード記載の産地情報について相違ないとの捺印付の書面) | |

② 一般物資の検査

細菌感染を防ぎ安全安心な物資を提供するため肉や魚などのうち、年間を通して使用頻度の高い国産牛のスライスなど30品目について、細菌検査（大腸菌、ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター）を3回実施した。また、本会の取り扱う冷凍野菜20品目について、300成分の残留農薬検査を行い、より安全・安心な物資の提供を行った。検査はいずれも山口県予防保健協会に依頼した。

なお、年3回行う30品目の細菌検査と同時に、それ以外で比較的使用率の高い20品目程度については、各メーカーに対し自社検査または公的検査による細菌検査を義務付けた。

③ 基本物資の検査・検定

基本物資の精米・玄米については品質検定を（一財）日本穀物検定協会に委託し実施した。また、新米収穫時の10月から11月に19地域米玄米の残留農薬・カドミウム検査を実施した。

④ 学校給食用パン品質審査

学校給食用パンの品質向上のため、行政、県学校給食栄養士会、PTA等の代表者並びに専門家により、製品品質の審査を行った。また、審査の結果はパン加工委託業者、市町教育委員会パン供給実施学校へ通知し、併せて専門家による加工委託業者へ指導・助言を行い、品質向上を図った。

開催日時 令和6年11月1日（金）13時30分～16時30分

開催場所 公益財団法人山口県学校給食会

パン業者 7社

審査員 製パン技術専門家、県教育委員会、県農林水産部、県学校栄養士会
PTA 連合会、公益財団法人山口県学校給食会（11名）

（2）学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫の無償貸付事業

令和3年度からは新規貸付けを行わず、これまで貸付けを行った保管庫の廃棄処分等に係る事務のみ行った。

（3）学校給食施設等における衛生管理の支援

① 学校給食衛生管理指導者講習会

各市町において衛生管理の指導的立場にある市町教育委員会、県立の学校給食関係者、栄養教諭・学校栄養職員等を対象として食中毒防止対策等の必要な知識及び実務的な対策方法を習得させ、衛生管理に関する指導力の向上を図った。

開催日時 令和6年5月30日（木）13時30分～16時15分

開催場所 公益財団法人山口県学校給食会

参加者 各市町教育委員会学校給食担当者、公立学校の学校給食調理施設の調理場長等責任者、栄養教諭・学校栄養職員等

- 研修内容 (ア) 講義「学校給食における衛生管理について」
山口県教育庁学校安全・体育課 指導主事 廣田 典子
- (イ) 講義「事例から学ぶ衛生管理について」
山口県環境生活部生活衛生課 食の安心・安全推進班
技 師 黄波戸 亜哉
- (ウ) 講義・実習「食中毒防止の手洗いの重要性について」
一般社団法人山口県薬剤師会 内田 一成 西村 正広

主 催 山口県教育委員会 公益財団法人山口県学校給食会

② 衛生検査器具の無償貸付事業

児童生徒に対し効果的な手洗いを指導するため、手洗いチェッカーやＡＴＰ（拭き取り検査器具）・ふらん器などの貸出し及び試薬の無償提供を行った。

(ア) 手洗いチェッカー	5 件	9 台
(イ) ＡＴＰ（拭き取り検査器具）	13 件	13 台

③ 指定委託工場の巡回調査実施

衛生管理の専門業者に依頼し、パンの製造や炊飯を委託している工場に対し、年２回、設備の衛生管理の状況を調査・指導し、製造従事者に衛生管理講習会を実施した。
また、クレーム件数の多い工場は後日、再調査及び衛生講習会を実施した。

第１回実施時期	令和６年６月１８日～７月４日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（１１工場）
第２回実施時期	令和７年２月１０日～３月３１日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（１１工場）

④ 山口県産食材を使用した商品の製造を委託している工場の調査を実施

本会が山口県産品を製造委託している県内外にあるメーカーの６工場に対して、本会が定めている工場の調査要綱に基づき、立ち入り調査を実施した。

実施時期 令和６年７月２６日・２９日、８月２日・５日・１９日・２０日

⑤ 異物混入等への対応（原因究明、改善対策指導・確認、報告）

発生時の対応から報告まで原因究明、改善策等の報告を行うとともに、重大な異物混入など給食事故を起こした加工委託工場に対し、必要に応じて専門業者による立入調査を実施しているが、令和６年度においては、重大異物混入等の事案の発生がなかったため調査は実施していない。

⑥ 加工委託工場ＡＴＰ拭き取り検査

加工委託工場の衛生管理取組体制強化を目的に月１回拭き取り検査を実施した。

汚れを数値化することにより、調理器具や手指の洗浄不足などがわかりやすく、基準よりも数値が高かった工場に対しては、洗浄方法の見直しをするよう指導を行った。

⑦ 職員の検便の実施

毎月２回実施した。（１０月～３月はノロウイルス検査を毎月１回追加で実施）

4 車両関係修理

高額修理は全て２トン積みトラック。原動機・排気ガス浄化装置関連１７件、冷凍機関連５件。新車（フルメンテナンスリース）導入の効果もあり、昨年比△２１５千円となった。

5 修繕

高額修理は事業計画に基づいた常温庫シャッター修理５７８千円、防犯カメラ修理２２３千円。故障により急遽発生した冷凍庫室外機部品交換６０５千円、本館棟冷房機クーリングタワー修理２１２千円。その他修繕を含め予算比＋２１７千円となった。

6 設備投資

①車両の入れ替えについて

高額修理見積りとなった２トン積みトラック１台について廃車にして給食のセンター化に対応した３トン積み新車両への入替を行った。

調達には主に将来の修理費軽減を主な目的として、前回同様７年のフルメンテナンスリース契約とした。

② 冷凍冷蔵庫温度記録計交換

従来設置してある同等の記録計が、経年劣化により印字リボンが回らない状態となり部品交換も型式が古く調達不能であったため、同等能力の新品の記録計に交換した。

③ 小分け室の設置

保健所指導により、小分け作業は独立した部屋が必要となったため常温倉庫内に小分け室を設置した。

7 資産取得資金(冷凍冷蔵倉庫建替資金)の積立

入札物資応札価格の入念な見直し等による増収と、経費面では基幹システム更新を1年繰り下げたことによる減価償却費減少要因を中心に、当期経常増減額が32,659千円となったことより、収支相償に必要な額5,763千円を加えた38,422千円を利益剰余金として資産取得資金（冷凍冷蔵倉庫建替資金）に積立てるものとする。

8 令和6年度行事

(1) 役員会・評議員会の開催

- | | | |
|--|-----------|------|
| ①令和6年度第1回通常理事会 | 令和6年5月29日 | 県給食会 |
| 令和6年度定時評議員会
(令和5年度事業報告案及び決算案の承認ほか) | 令和6年6月26日 | 県給食会 |
| ②令和6年度第2回通常理事会 | 書面決議 | |
| 令和6年度臨時評議員会
(令和7年度事業計画案及び予算案の決議・承認ほか) | 令和7年3月27日 | 県給食会 |

(2) 給食会主催

- | | | |
|---------------------|------------|--------------|
| ①物資選定委員会(年2回開催) | 令和6年8月6日 | 県給食会
書面決議 |
| ②親子食育実践教室 | 令和6年7月31日 | 県給食会 |
| ③学校給食用パンの品質審査 | 令和6年11月1日 | 県給食会 |
| ④学校給食料理コンクール(最終審査会) | 令和6年12月13日 | 県給食会 |

(3) 関連会議・研修会(全国、中国・四国ブロック、県内)

①全国学校給食推進連合会関係

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 全国学校給食推進連合会第1回理事会 | 令和6年6月13日 |
| 全国学校給食推進連合会定時社員総会 | 令和6年6月28日 |
| 全国学校給食会管理職(事務局長・課長クラス)研修会 | 令和6年10月22日～23日 |
| 全国学校給食推進連合会第2回理事会 | 令和7年2月14日 |
| 全国学校給食推進連合会実務(公益法人会計)担当者研修会 | オンライン開催 |
| 第18回食育推進全国大会(富山) | 令和6年6月24～25日 |
| 第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会(長野) | 令和6年8月1～2日 |

②中国・四国ブロック関係

- | | |
|------------------------|------------|
| 中国・四国ブロック別研究協議会(高知) | 令和6年6月18日 |
| 中国・四国学校給食会代表者会(山口) | 令和6年11月21日 |
| 中国・四国物資安定対策協議会担当者会(広島) | 令和6年7月25日 |
| 中国・四国幹部職員研修会(岡山) | 令和7年1月16日 |

③県内

- | | |
|---------------|----------|
| 山口県学校給食研究協議大会 | 令和6年8月8日 |
|---------------|----------|

(4) その他

- | | | |
|----------------|-----------|------|
| 職員研修会 | 令和6年8月1日 | 県給食会 |
| 学校給食衛生管理指導者講習会 | 令和6年5月30日 | 県給食会 |

附 属 明 細 書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第 3 4 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 5 月

公益財団法人 山口県学校給食会